

# インパチェンス



## ■インパチェンスのプロフィール

学名： *Impatiens walleriana*

科名： ツリフネソウ科

分類： 一年草

原産地： アフリカ

インパチェンスは、日がよく当たらない半日陰の場所でも元気に育ってくれる、初心者にも比較的育てやすい植物です。初夏から秋にかけて、白、赤、ピンクのきれいな花を咲かせます。

インパチェンスとは、ツリフネソウ科の植物を指し、園芸ではアフリカハウセンカ (*Impatiens walleriana*) と呼ばれることもあります。

原産地のアフリカでは多年草ですが、寒さに弱く冬越しできないので、日本では一年草として扱われます。

## ■インパチェンスの育て方

### ●タネまき

3～6月がタネまきの適期ですが、発芽温度が20～25度と高めなので、5～6月頃の暖かい時期のタネまきがおすすです。

ポットに種まき用土を入れて、タネを3粒ほどまきます。インパチェンスのタネは光を好みますので、土を厚くかけてしまうと、発芽しにくくなりますので、そのまま土をかけないで発芽を待ちます。水はタネが流れてしまわないよう、ポットの底から吸わせるようにして、発芽するまでは乾燥させないように注意します。1週間から10日ほどで、発芽します。

### ●タネまき後の育て方

本葉が出た所で、ポットの中で混みあってきたら、元気な苗を残して、間引きをします。本葉が3～4枚出てきたら、庭やプランターなどに植え付けます。

### ●育て方のポイント

インパチェンスを殖やしたいときは、「挿し木」が一般的です。挿し木で比較的簡単に殖やすことができます。

インパチェンスの挿し木に最適なのは、5月から7月頃です。葉っぱが5枚くらい付いた状態で枝の先の方を摘み取り、下葉を1枚落としたら挿し木用の土に挿します。

たっぷりと水やりをして日陰で管理すると、1週間から2週間ほどで発根します。根っこが出たら鉢上げしましょう。どんどん枝分かかれしながら育っていきますので、摘芯の必要はありません。間延びして姿が乱れてしまったら、姿を整えるために切り戻しをします。

真夏も花は咲いてきますが、無理に咲かせるよりも一度切り戻して株を休ませると、秋からの花が美しくなります。7月ごろ、草丈の1/2の高さを目安にして、必ず葉が残るのを確認して、切り戻します。

